

実践記録

190

シリーズ

親子で運動いいですね！

聖籠町教育委員会 高橋 誠司

聖籠町教育委員会主催の「親子サッカー教室」が9月28日、アルビレックス新潟の練習コートとなるアルビレッジを会場に開催されました。

この事業は、文部科学省から委託を受けた事業で、聖籠町教育委員会と(株)アルビレックス新潟、学校法人のJAPANサッカーカレッジが連携して「スポーツの力で地域コミュニティの活性化」を目指すものです。

当日は、87名の親子がアルビレックス新潟やJAPANサッカーカレッジのスタッフから遊びを交えながらサッカーの基本となる動作や、パスやシュートなどボールの扱い方などを教わりました。

また、教室の終わりにはチームに分かれての試合も行われ、全力でボールを追いかける子どもたちと、その子どもに遅れまいと汗をかく親、笑い声があちらこちらから聞こえる親子の光景を見ることができました。

参加した保護者からは「いつもは観戦だけど、一緒に体を動かすのも良いですね」、「子どもと一緒にいい汗を流しました」。子どもたちからも「もっと試合がしたい」、「面白かった」などの声も聞かれました。



教室終了後には第二部として、サッカーボールやアルビグッズなどが入った「宝探し」と、「お菓子つかみどり大会」も行われ、参加した子どもたちは、秋晴れの爽やかな日差しの中、お父さん、お母さんと一緒に楽しい一日を過ごしました。



親子サッカー教室アンケート結果

1. この事業に参加してどうでしたか？		
①良かった	②どちらとも言えない	③良くなかった
32名	0名	0名
2. また同様の事業があれば参加したいですか？		
①参加したい	②どちらとも言えない	③参加しない
32名	0名	0名

3. その他の意見

- ・子どもと一緒にスポーツを楽しむことができてよかったです(8)
- ・5・6年生はもっと技術的な部分を教えてもらいたかったです。(1)
- ・コーチ陣の教え方が良かったです。(1)

○課題は更なるスポーツ資源との連携

聖籠町がアルビレックス新潟のホームタウンとなって10年、JAPANサッカーカレッジが開校して11年、少しずつスポーツ資源が住民に認知され、交流とスポーツ振興による地域の活性化が図られています。

25年度は、文部科学省の委託事業に手を挙げ、6種類、10回の事業を実施・計画しています。「親子レクリエーション」や「親子サッカー教室」、マラソン記録会前には児童対象の「長距離を速く走るコツ講座」を開催するなど、参加者からは「参加して良かった」、「継続してもらいたい」などの声も多く寄せられています。

また、11月には「サッカーDE縁むすび」と題して、サッカーと婚活を結びつけたイベントを開催し、男女各24名の募集に対して、104名の応募をいただき、10組のカップルが成立しました。スポーツが健康増進はもとより、人と人、地域と地域の交流促進、未婚率の低下、少子化対策など、秘めた可能性を持っていることに驚かされるばかりです。

1月13日には、町内外国人と町民とのスポーツと伝統文化をメインとした交流も計画されています。今後もアルビレックス新潟、JAPANサッカーカレッジという豊富なスポーツ資源との連携を深めながら、地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを積極的に実行に移していきたいと思ひます。